

登録コード	J5933100	開講年度	2026				
授業科目	社会科学特別講義（地域経営実習）					担当教員	関　利恵子
英文授業名	Regional Management in Practice					副担当	WU PO TSANG・YANG JIE
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	（23カリ対象科目）経：1年
講義室				授業区分	実習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済						
	専門知識を応用・実践する力として，計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					本講義では，事前学習と中山間地域を対象とする実習を通じて，地域社会が直面する課題を把握し，その要因を多面的に分析する力を養う。 具体的には，教育・農業・環境エネルギー・健康といった地域の実践事例を題材に，現地観察、グループ討論を行って，地域資源の活用や持続可能な地域運営のあり方を検討する。 さらに，異なる文化的背景をもつ台湾の学生との国際共修を通じて，多様な視点から地域課題を評価し，経済の実情に即した実践的提案を構想できる能力を身につける。	
	【2020年度以降加修対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。					本講義では，これまでに修得した経済学に基づく論理的思考法を基盤として，中山間地域を対象としたフィールドワークを通じ，地域社会が直面する具体的課題を分析する力を養う。 教育・農業・環境エネルギー・健康といった地域の実践事例を対象に，現地実習やディスカッションを通じて，公共政策や地域制度の実態を経済学的視点から理解する。 さらに，得られた知見をもとに，地域資源を活かした持続可能な地域運営のあり方を検討し，理論的知識を現実の問題解決へ応用する能力を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は，松本市奈川地区を主たる実習フィールドとして，中山間地域における農業、観光、地域資源を活かした取組みを対象に，地方創生の実践的課題について学ぶことを目的とする。事前学習では，中山間地域の現状や地域づくりの背景について理解を深め，現地実習では，地域の取組みの視察、グループワーク等を通じて，地域社会の実態を多角的に考察する。 本講義は，海外大学の学生との国際共修を前提として実施し，異なる視点から地域課題を捉え，協働的に学修を進める点に特色がある。 なお，本授業は事前学習およびフィールド実習を一体として実施する集中形式の授業であり，授業計画に示す日程への参加および必要経費の納付を履修条件とする。						
(5)授業計画	（１）講義ガイダンス 4月15日（水）昼休み　12:15～12:45（401演習室） ＊履修希望者は必ず参加すること （２）講義（オンライン　国際共修COIL型） ■水曜5時限（5月20日・5月27日） 5月20日　第1回　中山間地域における地方創生の現状と課題 浜野　充（信州大学グローバル化推進センター） 5月27日　第2回　持続可能な地域づくりに向けた実践 田中浩二（NPO法人めぐり奈川） （３）フィールド実習・講義（長野県松本市奈川地区） ■6月3日（水）〔午後〕実習・講義（オンライン　国際共修COIL型） 実習１．中山間地域における教育の取組みの視察・意見交換 於：奈川小中学校 講義(国際共修COIL型) 第3回　中山間地域における地域マネジメント 関　利恵子（信州大学経済学部） ＊講義（16:00～17:00）終了後、松本へ移動。 ■6月13日（土）～15日（月）〔2泊3日〕 奈川地区に滞在し，地域資源の活用事例の調査、聞き取り、討議および成果発表を行う。						

(5)授業計画	6月13日（土） 実習2：高齢社会と中山間地域（健康長寿と暮らし） 実習3：中山間地域における再生可能エネルギーの実践 施設見学・振り返り・討議 6月14日（日） 実習4：中山間地域における持続可能な農業の取り組み 実習5：日台学生によるグループワーク／成果発表準備 6月15日（月） 成果発表会 フェアウェルランチ ランチ終了後、松本へ移動。 最終日に授業アンケートがある。
(6)成績評価の方法	事前学習における課題・報告（20％）、フィールド実習への参加状況およびグループワーク・討議への取り組み（70％）、成果発表資料および提出レポート等（10％）を総合的に評価する。 なお、各課題の内容および提出方法については、初回ガイダンスにて説明する。
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。
(8)事前事後学習の内容	・事前学習として、配付資料や参考文献などで中山間地域の現状や地方創生に関する基礎的知識を確認しておくこと。 ・現地実習に備え、訪問先や地域の概要について各自で調べて、討議に参加できるよう準備すること。 ・実習では、現地で得た知見を整理し、授業内での成果発表およびレポート作成に反映させること。
(9)履修上の注意	eALPS上に掲載するガイダンス資料を事前に必ず確認すること。 本講義は台湾の大学の学生との国際共修を前提とした実習です。積極的なコミュニケーションをとる姿勢が求められる。 (1) 受講者は、実習経費を納入すること。経費納入のない場合は受講辞退とみなす。 経 費：26,900円（2泊3日の宿泊費・食事代等） 納入方法・日時：後日、指示する。 (2) 現地への移動は大学手配の学バスを利用する（指定された集合場所・時間を厳守すること）。 (3) 本実習の参加にあたっては、所定の保険に必ず加入すること。 (4) 本授業は事前学習および現地実習の全日程への参加を前提とする。やむを得ない事情を除き、部分参加は認めない。 (5) 本授業は集中形式で実施するため、実習期間中に他の授業が重複する場合は、履修者が事前に当該授業担当教員へ相談し、必要な調整を行うこと。 (6) その他 地域住民・関係機関を訪問して実習を行うため、大学生としてふさわしい態度・マナーを守ること。 海外協定校学生との合同プログラムとして実施するため、グループ活動および討議など積極的にコミュニケーションをとること。 天候・現地事情等により日程や内容を変更する場合がある。その際はeALPSまたはメール等で連絡する。 原則としてキャンセルは認めない。やむを得ない理由（病気・事故等）の場合でも、既に発生した費用については返金できないことがある。
(10)質問、相談への対応	本講義への質問・相談、不明な点については、遠慮なく気軽に問い合わせてください。履修希望者で、初回ガイダンスに参加できない場合は事前にメールにて連絡をお願いします。また、アポイントメントが必要な場合にもメールで連絡をお願いします。 メール 件名 地域経営実習について 本文 学籍番号 氏名 を必ず明記してください。 関 利恵子 メール：seki@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	必要な資料は授業内で配布する。
【参考書】	適宜紹介する